

キッティング手順 改修案 v2 (Red Team反映版)

1. 目的と前提

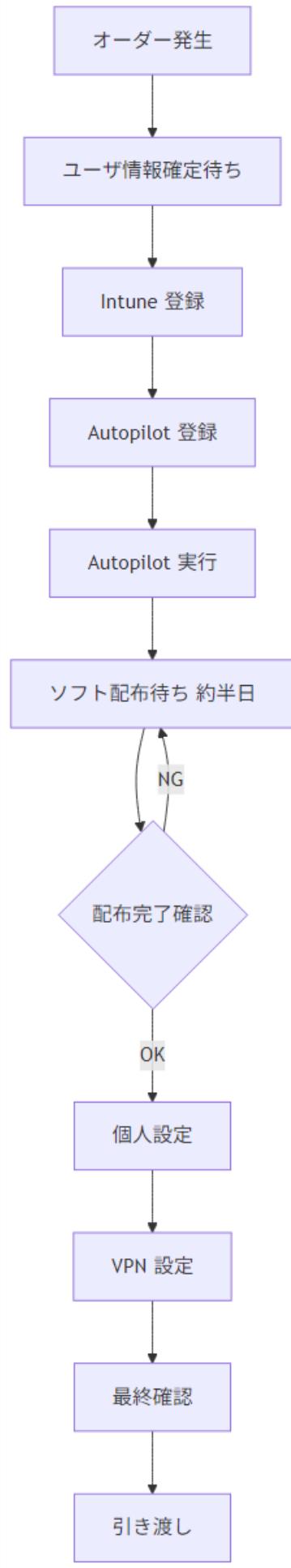
目的

- 人の拘束時間（ハンズオン）を最小化する
- Autopilotの待ち時間を人の作業線から排除する
- 外注 × オーダー不定期という制約下でも破綻しない運用にする

前提条件

- 外注作業が前提
 - オーダーは不定期・少量
 - 在庫作業は極小化したい
-

2. As-Is (現行フロー)



OK

NG

オーダー発生

ユーザ情報確定待ち

Intune 登録

Autopilot 登録

Autopilot 実行

ソフト配布待ち 約半日

配布完了確認

個人設定

VPN 設定

最終確認

引き渡し

As-Isの問題点

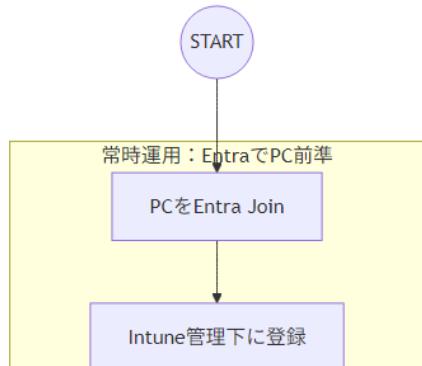
- Autopilot（非同期処理）が人の作業主線に乗っている
- ユーザ確定が起点となり、前倒し可能な工程が全て後段化
- 配布（デバイス工程）と利用開始（ユーザ工程）が混在

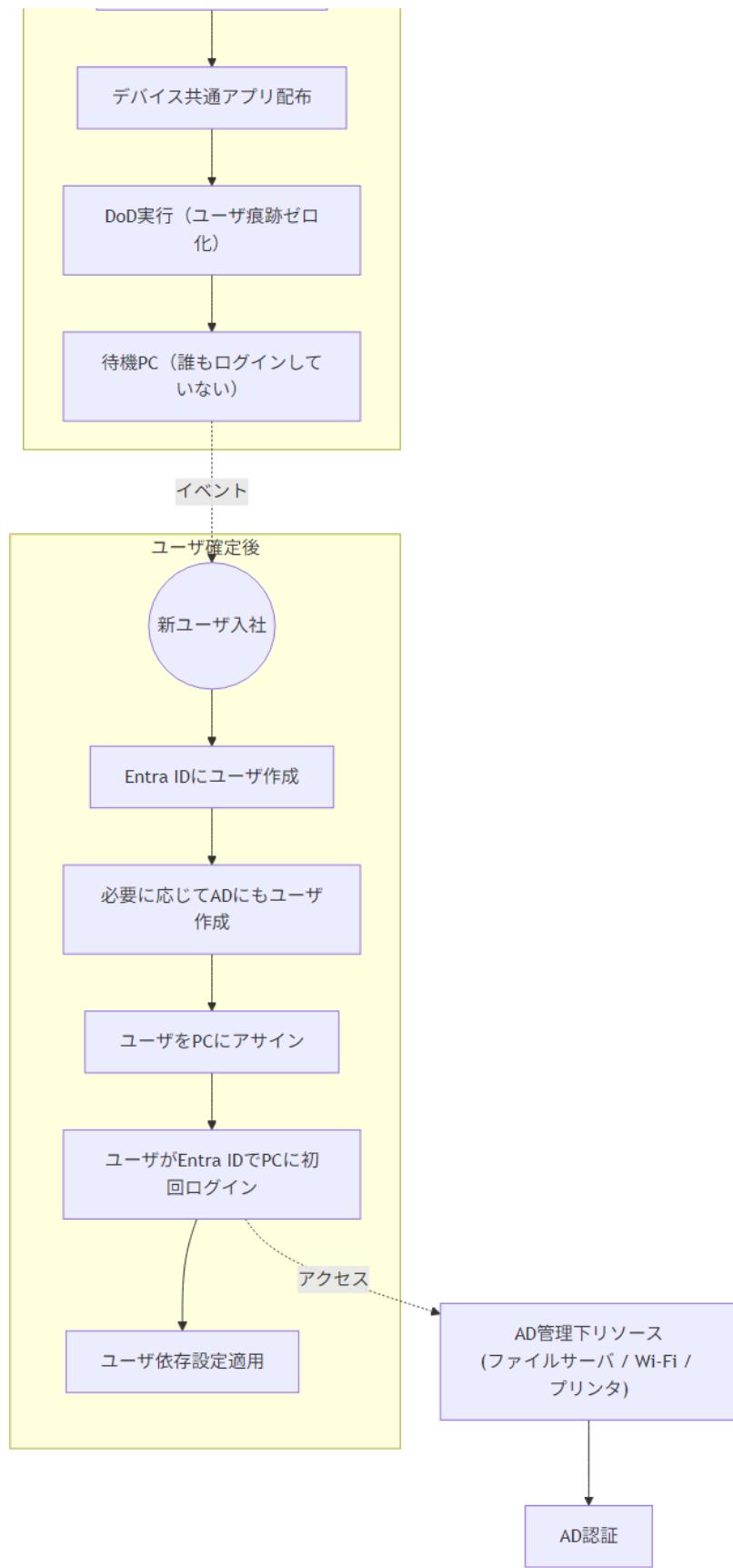
3. To-Be (改修案 v3 : Entra中心／ADリソース分離案)

基本方針（更新）

- PCセットアップとユーザ割当は Entra / Intune で完結させる
- ADはPC管理に関与させず、AD管理リソース利用時ののみ関与
- 作り置きPCは Entra Join + DoD 完了状態で待機

To-Be フロー (Entra中心・AD分離)





常時運用：EntraでPC前準備
(AD不関与)

イベント

アクセス

START

PCをEntra Join

Intune管理下に登録

デバイス共通アプリ配布

DoD実行（ユーザ痕跡ゼロ化）

待機PC（誰もログインしていない）

新ユーザ入社

Entra IDにユーザ作成

必要に応じてADにもユーザ作成

ユーザをPCにアサイン

ユーザがEntra IDでPCに初回ログイン

ユーザ依存設定適用

AD管理下リソース
(ファイルサーバ/Wi-Fi/プリンタ)

AD認証

ポイント整理

- PCは一貫してEntra管理。AD Joinは行わない
 - ユーザはEntra IDを主IDとしてログイン
 - ADは「リソース利用時の認証先」としてのみ関与
 - 新ユーザ作成はEntra→(必要なら)ADの順
-

4.1 拡充が回らずAs-Isに戻るリスク（最重要）

対策：拡充を納品完了条件に昇格

- 納品完了（Definition of Done）を以下とする
 1. ユーザPC引き渡し完了
 2. 待機PCが2台に復帰していること
 - 上記を満たさない場合、検収不可（またはSLA未達）
 - 待機PC在庫は常時オープンの定常チケットで管理
-

4.2 前準備完了の曖昧化リスク

対策：前準備完了を「判定可能な3点」に固定

前準備完了 = 以下すべてOK

1. Autopilot登録済み (Assigned)
2. Intune管理下 (MDM = Intune)
3. 必須デバイスアプリが **Installed** 状態

※ Outlook利用可、VPN接続可などは**含めない**

4.3 ユーザ依存設定の混入リスク

対策：禁則ルールを明文化

- 待機PCには以下を**入れない**
 - ユーザ割当アプリ
 - ユーザ依存ポリシー
 - ユーザ必須ESP条件
 - 待機用デバイスグループを固定し、割当を分離
-

4.4 外注手順逸脱・保管不備リスク

対策：最低限のガバナンスを固定

- 保管場所は1か所固定
 - 待機PCには管理番号ラベルを貼付
 - 台帳（SharePoint等）で以下4項目のみ管理
 - 管理番号 / 状態 / 最終作業者 / 最終更新日
-

5. KPI（客観指標のみ）

- 待機PC **2台維持率**（日次）
- オーダー後の **ハンズオン時間（分/台）**
- 隠れ待ち発生回数（Installed待ち等）

※ 主觀評価はKPIに含めない

6. まとめ（意思決定ポイント）

- 本改修案の価値は**技術ではなく運用強制力**にある
- 補充を検収条件に組み込むことで、To-Beは時間経過でも崩れない
- 在庫は2台限定のため、外注・不定期オーダーでも心理的負担が小さい

この条件を受け入れられるなら、本案は実行可能かつ効果が出る。